

和光台町会との市長と能ん美りカフェトーク

日 時 令和6年12月13日（金）18:30～19:30

会 場 虚空蔵会館

参加人数 12人

○和光台町会 参加者 自己紹介

○意見交換

【参加者】和光台にコンビニができないか。町外のコンビニに行こうとすると、遠かったり、坂があつたりして疲れる。お店的なものがほしい。

【市長】和光台には千人ぐらいの人がいるのに、なぜお店ができないのか、逆にこちらも不思議である。湯野小学校のそばにドラッグストアができたが、コンビニもあって、もう1本南側の道にもドラッグストアがある。和光台にもお店ができてもおかしくないと思うが、こればかりはこちらがお店を出すわけではないので、難しい。ドラッグストアやコンビニに声掛けしていくしかない。市としても働きかけていきたいと思っている。

【参加者】特に店を置いては行けない理由等があるのか。

【市長】ない。需用があればできるだろうと思う。加賀産業開発道路を挟んで反対側の金沢大学跡地に新しい町を開発していくので、お店も作って生活しやすいようにしていきたい。

【参加者】金沢大学跡地に町をつくと、小学校はどこに通うことになるのか。

【市長】どうするか迷っており、選択制にしようかと考えている。能美市は今、小学校から中学校はストレートしかない。例えば、和気小学校に通っている人は辰口中学校へ行き、寺井中学校に通うというパターンがない。ご意見をお聞きしていかなければならないが、小学校と中学校をストレートにせず、選択制にできるようにしようと考えている

【参加者】和気小から、寺井中に行けるということか。通学手段は自転車ということになるのか。

【参加者】物理的に制限される。自力で通うと負担が増える。

【市長】冬場はバスを出しているが、今、夏も暑いので、将来的にはバスを出すことも考えていかなければいけないと思っている。例えば部活で、吹奏楽部のこの先生に教えてほしいから、その中学校に通いたいと思う人も増えてきている。皆さんの声を聞きながら、慎重に進めていかなければならないので、そう簡単なことではないが、新しい町の学校だけでなく、市全体で選択制にできないかと考えている。

【参加者】あと30年程経つと和気小学校に人がいなくなるのではないかと心配している。新しくできた町から和気小学校に通うとなれば、その期間が延びることとなり、地域も活性化するのではないか。

【市長】和光台五丁目を分譲中であり、30世帯程あるので、若い人たちが住んでくれば、子どもが和気小学校に通うことになり、一つの楔を打てるのではないかと思う。また、市全体で企業誘致が好調なので、人財を確保していく上で、従業員が住むための宅地を増やしてほしいという声が誘致企業から出ており、宅地造成を行って人口が増えるように楔を打っていきたい。

【参加者】アドベンチャーガーデン能美でバイトをしているが、市外から結構お客さんが来てくれている感覚がある。下でマルシェもやっていて、その効果はどれぐらいあるのか。

【市長】アドベンチャーガーデン能美の効果はすごく、市外からたくさんお客さんに来てもらっている。マルシェは、住んでいる場所や年代層等、ターゲットを考えて開催している。例えば、いしかわ動物園は石川県、能美市にとって貴重な観光資源であるが、東京からお客さんが新幹線に乗って来るかという、上野動物園があるので、わざわざこちらに来ることはないだろうと思う。名古屋には東山動物園、大阪には天王寺動物園がある。北陸三県では、唯一の動物園なので、北陸三県の人たちに来てもらうための取組を行っている。マルシェについても、あそこでマルシェを開いても、遠くから人は来ないので、どのような人をターゲットにイベントをやるかということである。いろいろなきっかけで能美市に人が来て、能美市は住みやすそうであると感じてもらったり、こんな施設もあったのかと気づいてもらったりして、能美市に住んでみようというきっかけづくりになれば良いと考えている。また、能美市に住む人たちにも、こんな面白いイベントもあるのかと知っ

ていただき、ずっと能美市に住み続けたいと思ってもらえるように、いろいろなことをやっている。お店をつくと固定費がかかったり、人気がなくなってしまうと経営が難しくなったりするので、マルシェはすごく良い企画であり、たくさん開催できればと考えている。

【参加者】辰口福祉会館の下に道の駅ができると聞いた。角の交差点にガソリンスタンドが残っているが、いずれはなくなって一体として整備されるのか。いつできるのか楽しみにしている。

【市長】道の駅的なものをつくりたいと考えている。厳密に言うと、国土交通省により登録された施設を道の駅と言い、トイレや駐車場等いろいろな制約がある。なので、能美市のお土産を一堂に購入できる場所という意味で、道の駅的なものと表現している。現在、能美市のお土産を一堂に購入できる場所は、能美根上スマートインターチェンジそばの1箇所しかない。いしかわ動物園や辰口丘陵公園に遊びに来た人がお土産を買いたいと思っても、その周辺にないので、辰口フラワーハウス跡地をお土産が購入できる場所、かつ能美市のおいしいものを食べることができる場所にしたいと思っている。4年前から計画しており、辰口フラワーハウス横にあった市民農園を移転して、さあ開発をしようと思っていたが、コロナ禍と物価高になってしまって、なかなか入る会社がない。ガソリンスタンドも我々とするとなんとかしたいと思うが、持ち主の意向がないと何もできない。辰口フラワーハウス跡地の開発にもう少し時間をいただきたい。

【参加者】元気なうちにできると良いなと思う。

【市長】元気なうちにはできる。あそこにどんなお店が来るのかと興味を持っている人が多い。一番声が多いのは、ハンバーガショップである。コーヒーショップを望む声も多く、いろいろなことを考えていきたいと思う。

【参加者】飲食店以外でも良いのか。加賀市のにこにこパークのような全天候型の室内遊戯施設があると良いと思う。能美市には、動物園や丘陵公園、フィッシュランド、海、アドベンチャーガーデン等があるので、外の遊びは豊富であるが、室内がない。

【市長】同様の声を多くいただいている。能美市は児童館があり、たくさん利用されているが、にこにこパークやあめるんパークのような屋内施設がほしいという声があるので、考えていきたいと思っている。ただ、辰口フラワーハウス跡地は7,000㎡しか広さがないので、駐車場を造るとそんなに大きな建物は造れない。

【参加者】 コワーキングスペースがあると良いと思う。

【市長】 最近の流行りは大きなレストランではなく、小さなお店がたくさんあって、食事スペースがあるものである。そのような雰囲気にしたと考えている。能美市は飲食店や美容室等、新規店舗の出店が多い。小さなお店が何店舗か入って、勉強できるスペースも設けるというイメージは一つの案として持っている。

【参加者】 できれば、そういうものができたときに、和光台からバスが出ると良い。駅までの直通バスがないので、有ったら便利だと思う。

【市長】 何人ぐらい需用があるのか。利用者がいればバスを出せる。前に調査した時に、和光台ではそんなに要望がなかった。

【参加者】 子育てが終わった身からすると、バスがもしあったら、通学の選択肢が広がったと思う。バスがないので、親の送迎がありきの進学先しか考えられない。

【市長】 能美市在住の高校生に対し、高校のスクールバスやPTA等が運行する通学バスの利用料金を補助する制度があるが、問題は帰りである。行きはまとまって同じ時間に通学できるが、帰りがまとまらない。また、今、ライドシェアに取り組もうとしている。タクシーの運転手不足で、2種免許を持っていなくても人を乗せてお金がとれるようになった。高齢者の交通手段が特にないので、国造地区の鍋谷町や寺畠町でライドシェアを始めようと考えており、運転手を募集しているが、なかなか集まらない状況である。

【参加者】 ちょうどその集まりが月曜日にここであって、話を聞いたが、事故が怖い、病院で待っていなければならないのか、終わった後迎えに行かなければならないのか等の声があった。平日はみんな仕事をしていて、ドライバーは難しいという話になっていた。

【市長】 なるほど。将来的に、学生もライドシェアを利用するという手も考えられる。例えば、朝、小松方面に行く人がいれば、乗せてもらって、学校に行く。帰りは、それぞれの時間でマッチングしておいて、乗せてもらうという方法も考えられるのではないかと。

【参加者】 モデルケースで和光台は抜かれていた。後々、能美市全域にライドシェアを広げるのか。

【市長】 まずは高齢者を対象に始めるが、ゆくゆくは市全体に広めていきたいと考えている。ただ、市内でも、例えば、寺井町は近くに病院やコンビニもあるので、余り需要がないのではないかと考えている。おそらく一番需要があるのが、国造地区ではないかということで、そこから始めようとしているが、いずれにしても、運転手のなり手がいないので、困っている。

【参加者】運転手になるのは、お金次第かなと思う。

【参加者】暇な大学生にやってもらえば良いのではないか。

【市長】いくらあったらするのか。

【参加者】1回1,500円～2,000円程かな。

【市長】そうしたら、今度は乗る側はいくら払えるのかという問題がある。運転する側は、1,500円～2,000円ほしいと言っても、4人乗ったとして、一人500円程度払わなければならない。マッチングの問題がある。

【参加者】中学生は人によってはお金がないので、100円ぐらいだと助かる。払えて300円ぐらいまでだと思う。

【市長】ぜひ、市と協力して和光台から通学のライドシェアを始めてもらっても良いのかもしれない。大変なのは、何月何日の何時にどこに行きたいということ登録して、管理する仕組みである。

【参加者】すぐに大きくなって、免許が取れるようになるので、そこまでしなくても良いのかもしれない。

【参加者】高校が問題で、能美市は寺井高校しかないが、寺井高校に通うのも和光台からだと行きづらい。40分程かかる。

【市長】それぞれ住んでいるところには、メリットデメリットがある。

【参加者】ライドシェアの安全性は大丈夫なのか。市が運営すると思うが、素人が運転する車に人を乗せることになるので、配慮はあるのか。

【市長】保険に入るしかない。

【参加者】事故だけでなく、物騒な世の中になっているので、子どもが知らない人に乗せてもらうことに対して、抵抗がある。例えば自分のような怖い顔の人がライドシェアで来たら、怖いと思うのではないか。

【参加者】人によるかと思う。僕は大丈夫だが、か弱い女の子だと怖がるかもしれない。

【参加者】どんな人が来るのかわからないので、女の子を一人で乗せるとすると、かなり抵抗感がある。

【市長】運転手は事前に登録が必要である。正体がわからない運転手が来ることはなく、事前に登録された人が来ることになる。

【参加者】指名することはできるのか。

【市長】それはどこまでできるかわからない。車の車種もある程度決めて登録してもらう必要がある。

【参加者】自分にできることはないかと考え、先月、高齢者を対象に茶話会を立ち上げた。今までも高齢者対象に同様の取組はあったが、打ち上げ花火的に終わり、成功しなかった。維持継続していくためのアドバイスがあればいただきたい。また、和光台で移動スーパーをしている人がいて、その人に和光台でもしてくれないかと頼んだところ、OKをもらえて行っている。元気でお世話する方にいるうちに体制を整えたいと考えている。

【市長】市でデジタル公民館の取組を行っている。公民館にWi-Fiを整備してあるので、大きな画面さえあれば、eスポーツやカラオケを楽しむことができ、遠くに行かなくても楽しめるようになる。移動販売は市内に2業者入っている。和光台で、もしご希望があれば、その業者にお声がけさせていただく。将来的に、ネットで注文してもらったものを公民館に届ける仕組みも考えている。スマホが扱えない高齢の方もいるので、公民館に注文をサポートするスタッフを配置して、一緒に注文し、受け取る仕組みを広げていく予定である。和光台で先行してやりたいというのであれば、町会長に言ってもらえると、市の方もサポートさせていただく。

【参加者】植木屋をやっている。最近、お年寄りのお客さんがすごく多く、草むしりができないので、防草シートや砂利にすることが多い。本当は個人のお宅でも緑地を維持してほしいと考えているので、辛い。個人のお宅だけでなく、町レベルでもどんどんそういうような動きが広がっている。花鳥風月の思想が欠落すると偽物になってしまうので、本物を維持できるよう何とかしてもらえないか。

【市長】昔は道路を造ると必ず植樹を行っていたが、見通しが悪い等の理由で切っ払いという要望が最近多い。本当におっしゃる通りの世の中になっているが、花が咲く時期には、いろいろな花を見ることができたり、花を楽しみながら食事ができたりする場所等をしっかりと守っていきたいと考えている。最近、公園の整備を積極的に行っていて、能美ふるさとミュージアム横のふるさと歴史の広場の公園もすごく人気があり、人がたくさん来ている。県が管理している辰口丘陵公園も古くなっているので、市も協力しながら、きれいにしていきたいと思っている。

【参加者】和気小学校横の公園もきれいにしてほしい。

【市長】遊具を置く等、何かしたいと思っているが、順番もある。

【参加者】和光台からでは、使い勝手が悪いので、のみバスに乗らない。乗らないので、便が減らされる。使っていない人間がいうのもなんであるが、たまに使うと、I Rと連携しているはずだが、バスが遅れてI Rに乗れなかったことがある。もう少し間を開けてもらうことはできないか。

【市長】できるが、そうすると待ち時間が長いという苦情が出る。頃合いが難しい。I Rの日中のダイヤが固定化されており、我々のみバスのダイヤが組みやすくなっている。ただ、I Rの時刻表編成の話を知っていると、一番メインとなるのは、高校が始まる時間にどう間に合わせるかということであった。例えば金沢市だと、市内にいろいろ高校があるが、金沢駅からバスに乗ってちょうど良い時間に学校に着くように、I Rの時刻表を決めている。小松駅でも同様であり、小松にある高校に通うために考えて作られている。バスの時刻表を作るのは、本当に大変である。朝夕の連携ルートのバスは、乗客が多く乗っているが、循環ルートは乗客が少ない。それをうまく活用できないかと考えているが、のみバスも運転手不足で、一番利用される時間に多くのバスを投入できず、今のダイヤとなっている。それを補完するために、ライドシェアを活用しないと、皆さんの需用に対応できないと考えている。

【参加者】中学校の友達から、カラオケできる場所や中学生が気軽に楽しめる娯楽があると良いという話を聞く。

【市長】中学生同士だけでカラオケに行って良いのか。

【参加者】駄目であるが、止められない。

【参加者】親と一緒に行く場合でも、カラオケに行きたいと思っても、遠いので、行くのを止めたということがある。

【市長】公民館に大きい画面を買ってもらって、カラオケできるようにすれば良い。ある町がカラオケ会社と契約しているが、そんなに費用はかからないと言っていた。高齢者が利用されているので、昔の曲を歌われているのかと思っていたが、最近の流行りの曲を歌われるということであった。ネットで最新の曲がどんどん入ってくるカラオケの仕組みでないと、今の高齢者は満足しないそうである。

【参加者】若い子も昔の名曲を歌っている。自分たちでギターをやるのも良いのではない

か。

【市長】カラオケも良いが、やはり和光台の人はみんな囲碁をすれば良いと思う。和光台に行けばみんな囲碁をしていて、そしてそこで観光大使の寺田柊汰さんが教えているとなれば、絶対話題になると思う。

○閉会